

『西国分寺駅改札』で毎週木曜日にフードドライブ開催！ ～地域と連携し、駅から継続的な食品ロス削減・食料支援に取り組む～

- 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン(代表取締役社長:小澤裕)と、社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会(会長:熊谷淳)は、駅でのフードドライブを定期的に行い、社会課題である食品ロスの削減と食料支援に取り組めます。
- JR 中央線西国分寺駅にて、11月7日より毎週木曜日の始発から終電まで、改札窓口で食品の受け取りを開始します。
- 食品に関する社会問題の解決策のひとつとして、皆さまからご家庭で使いきれない食品をご提供いただき、国分寺市社会福祉協議会を通じて必要なご家庭や施設・団体等にお渡しすることで、食品ロスの削減とSDGsの「飢餓をゼロに」へ貢献します。
- 利用者や地域の皆さまとともにSDGsの達成を目指し、地域のくらしづくりを推進します。

【実施概要】

実施日時 2024年11月7日(木)から毎週木曜日
始発から終電まで
実施場所 JR 中央線西国分寺駅 改札窓口



改札でのフードドライブのイメージ



ポスター(イメージ)

※対象食品について

常温で保存ができ、未開封で賞味期限まで1か月以上残っているもの。

米、缶詰、乾物、調味料、レトルト食品、インスタント食品、飲料(お茶、野菜ジュース、ゼリー飲料等)、菓子等が寄贈に適しています。

アルコール類、冷凍食品、2年以上の古米はお預かりできません。

【JR 中央線コミュニティデザインと食料支援のプロジェクト】

JR 中央線コミュニティデザインでは、地域の暮らしを「食」で支え合うため、2022 年 10 月の「世界食料デー」月間から 2 年にわたり中央線の運営駅を基点とした期間限定のフードドライブを実施してきました。

一過性のイベントとして終わらせず、食品ロスの削減と食料支援へ貢献するため、定期的なフードドライブの開催によって、継続した食の支援を実現します。



詳細はこちら

https://www.jrccd.co.jp//pdf/company/sustainability_appearance_3_3.pdf

<https://www.jrccd.co.jp//storage/pdf/newsrelease/tnp1231012103244.pdf>

<https://www.jrccd.co.jp//storage/pdf/newsrelease/tnp1221006122800.pdf>

食品ロスと食品廃棄について

本来は食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品ロスは、日本国内で年間 472 万トン。処理費用は、年間 2 兆 1,519 億円にものぼり、運搬や焼却に膨大なエネルギーを必要とし、地球温暖化にも影響を与えています。

廃棄食品の約 50%が家庭から出ており、1 人当たり毎日お茶碗 1 杯分の食べ物を捨てていることとなります。大量の食品が廃棄される一方で、世界では 9 人に 1 人が栄養不足に苦しんでいます。日本でも子どもの 7 人に 1 人が貧困層と言われており、世界の食料支援量は、年間 480 万トンと日本国内の廃棄量に相当します。

※統計データは令和 6 年 6 月発表 農林水産省・消費者庁令和 4 年度推計値

【お問合せ先】

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン 広報 TEL:042-316-4401 E-MAIL: press@jrccd.co.jp